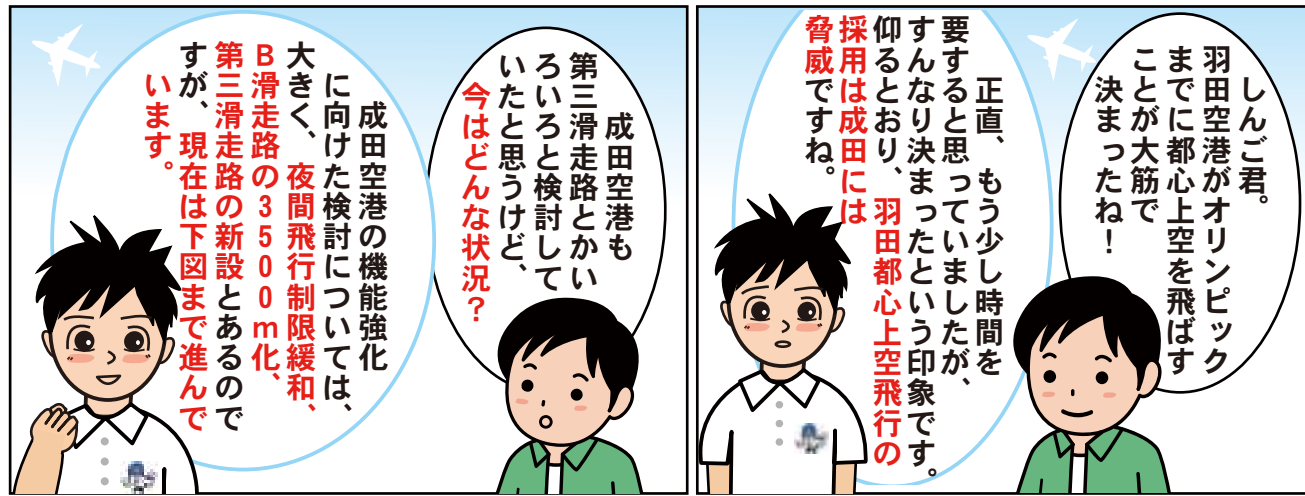


空港の機能強化ってどこまで進んでいるの？



第三滑走路、B滑走路延伸案などの比較結果の提示

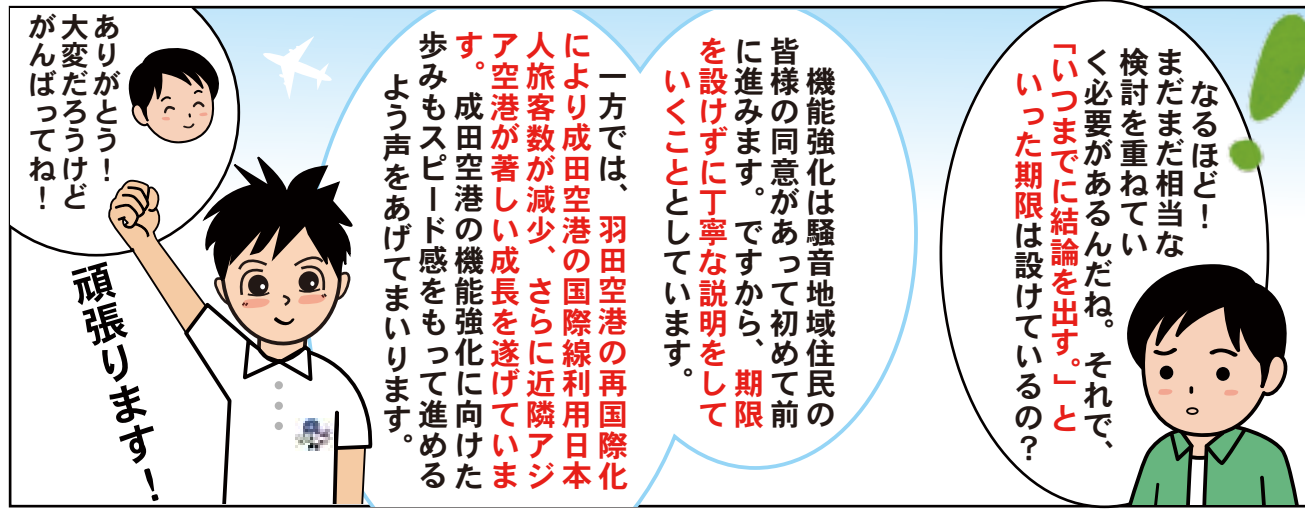
- 滑走路位置の検討
- 空港敷地範囲の検討
- 騒音影響範囲の検討
- 環境対策の検討

機能強化に向け、国・県・市・NAA（空港会社）で確認

- 具体的な環境対策の検討
- 環境対策の範囲の検討

機能強化に関する地元合意
国が基本計画変更を指示
航空法などの行政手続き
用地の取得
建設工事着手
第三滑走路などの供用開始！

今、ここまで進んでいます！



WAVE

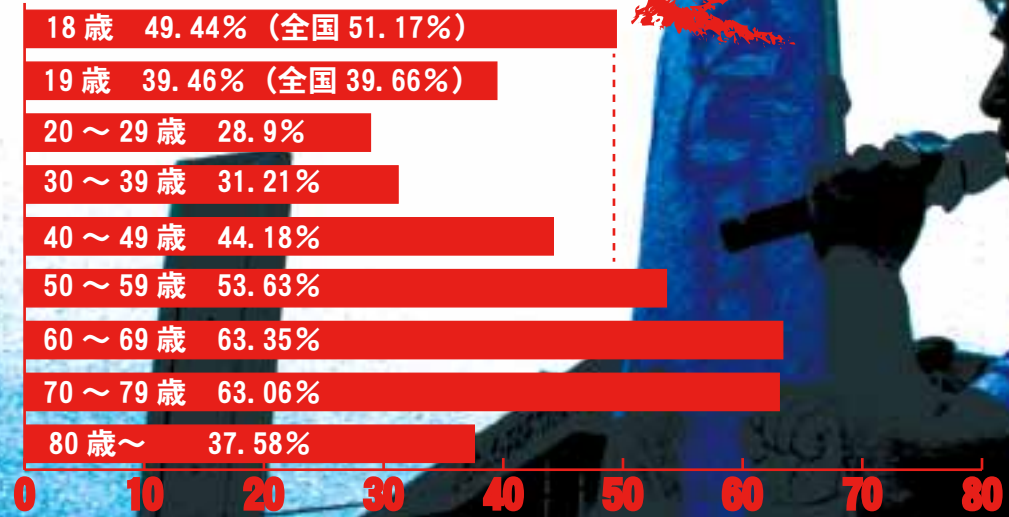
Shingo Amamiya Narita City Report

成田市議会議員 **雨宮しんご**

Vol. 37

18歳の投票率が20代、30代、40代よりも高かったという事実！

成田市全体の投票率 46.62%
全国 54.70%



18歳選挙権が導入されてはじめての国政選挙である第24回参議院議員通常選挙、わたしは選挙の勝敗もさることながら、投票率に注目していました。右図をご覧ください。「18歳は選挙に行かない。」という大方の予想を裏切り、60代、70代、50代に次ぐ投票率を叩き出しました。母数にこそ違いはありますが、とても大きな成果だと思えます。

19歳の投票率が伸び悩み、18歳が躍進した背景には、在校生を対象とした教育現場での主権者教育が機能したからだと考えられます。今後とも継続的な取り組みを期待してやみません。さて、若い時に選挙に行かなかった世代はその後も低迷するというデータがあります。そうなるを取り残されるのがわたしを含む20代、30代、40代となりますが、政策課題の提示をはじめ、市政報告会や学生インターンの受け入れなど、あらゆる機会を通じて政治への無関心が解消されるようこれからも尽力してまいります。

雨宮真吾事務所
〒286-0018 成田市吾妻 3-48-28 TEL・FAX/0476-37-3831

- ・1978年10月31日生まれ(37歳)
- ・平成19年 2651票で初当選
- ・平成23年 4079票で2期目当選
- ・平成27年 4526票で3期目当選
- ・教育民生常任委員会、医学部設置特別委員会
- ・日本サーフィン連盟公認インストラクター

活動日記を毎日更新中！！

info@ama-shin.net
www.ama-shin.net

雨宮しんご 検索

第三滑走路早期実現に向けて!同じ轍を踏んではならない。 (雨宮一般質問から)

成田国際空港会社(NAA)の2015年度の空港運用状況によると、総発着回数は前年比3%増の23.5万回と4年連続で過去最高となり、総旅客数も過去最高の3,794万人となりました。ですが、依然として国際線を利用する日本人旅客数は減少傾向にあり、1,311万人と成田空港開港38年のなかで過去25番目の低水準でした。成田空港民営化の年、2004年度の1,935万人と比べると600万人以上の開きがあります。この背景には羽田空港の再国際化や、アジア各空港の急成長があることは言うまでもありません。

1978年に開港した成田空港は私と同じ38歳です。成田空港の2本目の滑走路が出来たのは2002年と24年もの歳月を要したため、アジアの各空港との間に決定的な差がつけられてしまいました。こうした中で始まった成田空港3本目滑走路整備の議論です。過去と同じ轍を踏むことないよう、スピード感を持って取り組むよう声をあげてまいります。



変わる!交通ネットワーク! (雨宮一般質問から)

国土交通省の諮問機関である交通政策審議会が2030年を念頭に置いた、「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」とした答申案を16年ぶりにまとめました。「都心直結線構想」が実現されれば成田空港—羽田空港を50分台で結ぶことになります。



また、「総武線・京葉線接続新線」が実現すれば成田空港から東京ディズニーリゾートを經由して羽田空港までJRでの直結を可能に!

これらは、成田空港の国際競争力強化と成田空港利用者の利便性向上にも繋がるもので、今後の市の発展に寄与する大きな要素となり得ます。鉄道関連事業者が主体となった取り組みになるので実現することが決まったわけではありませんが、計画として位置づけられた意味は大きくこれからも注視してまいります。

2020年には、600床の国際附属病院が開院!? (雨宮一般質問から)

38年ぶりの医学部新設が成田市に認められ、来年2017年4月開学に向け、国際医療福祉大学が医学部キャンパスを急ピッチで建設しています。医学部新設には医学部キャンパス建設に160億円、附属病院建設に約500億円かかることから、大学側は成田市などに補助金を求めています。徹底した議会審議、そして県からの補助金拠出により、成田市は当初想定額よりも53億円の支出削減を図ることができました。

他にも、今回の一般質問で私が所属する会派政友クラブで調査、提案した国庫補助金から6億円の内示ができました。補助金の性質上、大学との協議が必要となるため全額とはいかないものの、さらなる市の負担軽減が見込まれます!

千葉県は全国ワースト3位の医師数と看護師の絶対数不足という課題を抱えています。成田の医学部設置が税金の支出に見合った地域医療拠点となるように引き続き声をあげてまいります。



中国の爆買いが一服。 ここから日本の観光の真価が問われる!?

観光庁が発表した訪日外国人消費動向調査 平成28年4-6月期結果をみると、あらためて中国の旅行消費額の多さに驚かされます。今年も右肩上がり中国人の訪日者数は増加、消費額全体としては伸びていますが、一人当たりの消費額が22万円現となるなど「爆買い」は落ち着いてきています。この背景には、円高と中国政府による関税の引き上げがあり、成田空港内にある免税店の5、6月の売上高が前年同期を26%下回った原因についてもNAAはこのダブルパンチにあったと触れています。



その一方で、前年度よりも消費割合が増えているのが、宿泊費、飲食費、交通費であり、「日本に来て買い物する」から、「日本の観光地を巡る」ことへと外国人の旅行スタイルに変化が出始めてきていると考えられます。

外国人が訪れてくる旅行のこと「インバウンド」と言いますが、価格面での訴求効果が失われつつある今、日本の観光はここから真価を問われることになることは言うまでもありません。さらにインバウンドを強化するために、成田の観光的魅力を強化、発信すべく、あらゆる機会において声を上げていきたいと思えます。

